

# 友よ!



## 東京・石中会だより

令和4年  
石巻未来  
特集号

第18号

発行 東京・石中会広報委員会 事務局 / 〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-56-7-906  
相澤 貞止方 TEL & FAX/03-3412-9759 事務局メールアドレス t-seki-chukai-tk@jcom.home.ne.jp  
令和4年7月1日

第2次石巻市総合計画がスタート

—ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩むまち—

### 「環境変化の中で創り上げる自分らしい生活を」

東京・石中会 会長 加藤友成（18回生）



新型コロナの感染が始まってから早くも3年目を迎え、私たちの生活環境は大きく変化してきました。昨年のコロナ禍でのオリンピック・パラリンピックは多くの感動をもたらしました。今年に入りロシアによるウクライナ侵攻は世界中に今までにない衝撃をもたらしました。早期に終息され、安心・安全で平穏な日々を取り戻せることを願わずにはいられません。

「東京・石中会の集い」は2年に渡り中止となりました。今年は何とか開催したいと検討してきましたが未だ安心して参加いただける環境とは言い難く中止を判断せざるを得ませんでした。大変残念に思います。

今年の東京・石中会の活動としては「石巻中学校応援募金活動」及び「広報誌『友よ』の発行」を中心としてまいりました。「石巻中学校応援募金活動」については会員の皆様のご理解とご協力により多額の寄付をすることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

「広報誌『友よ』の発行」については「新型コロナ過での未来」について特集いたしました。石巻市からは「整備が進んできたインフラの紹介」とともに今後の目指す姿を「第2次石巻市総合計画」として紹介頂きました。また今回は「石巻のふるさと納税」についても紹介頂きました。そして別のコーナーには「石巻さかな女子部」の活動について紹介頂きました。またピアニストで44回生のゲルティンガー祥子さんからは昨年からは始まったドイツでのコロナ禍生活について寄稿頂きました。是非ともご覧ください。

来年こそは「東京・石中会の集い」で皆さんとお会いできることを願っております。

皆さんの御健勝を祈念申し上げます。

### ごあいさつ

石巻市長 齋藤 正美



東京・石中会の皆様にはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。  
本市では、全国的な傾向である少子高齢化に加え、震災の影響も重なったことで、人口減少に歯止めがかからない状況が続いており、その対策が喫緊の課題となっております。このため、本市が誇る魅力を様々な形で発信し、交流人口の拡大に繋がる取組や子育て支援、雇用対策等を推進しております。

昨年4月にオープンした「マルホンまきあーとテラス」では、様々なイベントや企画展を開催するほか、今年の夏から秋にかけて「アート」、「食」、「音楽」が融合した総合芸術祭「リボンアート・フェスティバル」の開催も予定しておりますので、「石巻」にお帰りの際は、ぜひお立ち寄りいただければと存じます。東日本大震災の発生から11年が経過しました。これまで、国内外の皆さまから温かい御支援と励ましを頂きながら、復興への歩みを進めてきました。被災された方々のお気持ちにしっかりと寄り添いながら、残されたハード事業を着実に推進し、一日も早い復興の完結を成し遂げてまいります。結びに、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、挨拶といたします。

# 令和3年度の出来事



## 全国豊かな海づくり大会 開催



▲式典行事



▲ギネス記録に認定された  
「石巻市水産物地方卸売市場石巻売場」

漁業の振興と発展を図ることなどを目的に、全国豊かな海づくり大会が昨年10月に宮城県で初めて開催され、石巻市がメイン会場となりました。当日の式典には、天皇皇后両陛下にもオンラインでご臨席賜るなど、「水産都市・石巻」を広く発信する機会となりました。また、会場の一つとなった「石巻市水産物地方卸売市場石巻売場」は、昨年9月に最も長い魚市場として、ギネス世界記録®町おこしニッポンに認定されました。

## 石巻市博物館 開館



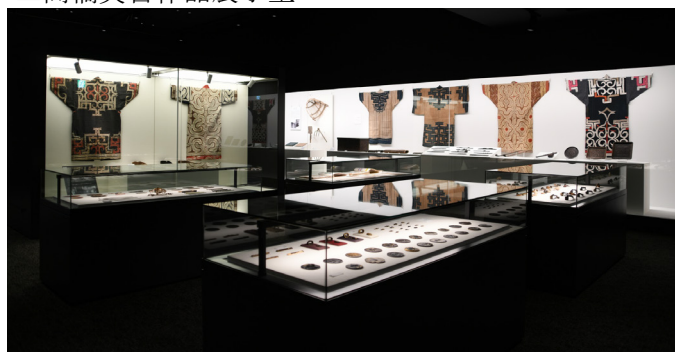
▲導入空間(ヤマガミユキヒロ「a little world」)



▲高橋英吉作品展示室



▲歴史文化展示室(古代)



▲毛利コレクション展示室

東日本大震災で被災した石巻文化センターの後継の施設として整備を進めてきた石巻市博物館が昨年11月に開館しました。「大河と海」をテーマに、市の通史及びテーマ展示を扱う歴史文化展示室のほか、石巻出身の彫刻家・高橋英吉の作品や毛利総七郎が収集した「毛利コレクション」などを常設展示しています。

# 令和3年度の出来事



## 震災遺構門脇小学校 公開



▲本校舎



▲展示館(屋内運動場)



◀展示館(特別教室)

東日本大震災で最大の被災地となった歴史を記憶し、次世代に同じ犠牲をださないために、被災した校舎の一部を残し、整備を進めてきた震災遺構門脇小学校が今年3月に完成し、4月3日に公開しました。校舎内部は外部通路から見学ができ、地震と津波、津波火災の恐ろしさを体感することで、日頃の訓練や避難の重要性を伝えます。展示館では、災害から自分や大切な人の命を守るためにはどうしたらいいのか、そして、自然とともに生きることを考えてもらうために、震災の体験から学んだことや教訓を証言や映像、実物資料をとおして伝えていきます。

## 石巻かわみなど大橋 開通



▲石巻かわみなど大橋(令和3年12月撮影)

門脇地区と湊地区を結ぶ全長536mの橋梁で、今年3月に開通しました。物流の活性化や、災害時の緊急輸送路としての役割が期待されます。

# 第2次石巻市総合計画



本市では、少子高齢化などによる社会情勢の変化、震災後の住環境やライフスタイルの変化に伴い多様化する市民ニーズ、硬直化する財政状況、国が進める地方創生事業等に対応し、将来にわたり持続可能な市政運営を行い、市民が住むことに誇りを持つまちづくりを実現するため、令和3年度を初年度とする第2次石巻市総合計画を策定しました。

## ○基本構想

将来像「ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち」

### 基本目標

- 1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち
- 2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち
- 3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち
- 4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち
- 5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち
- 6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち



▲総合計画基本構想

## ○基本計画

基本目標に基づく施策の展開のほか、「地方創生の取組」に係る、人口減少対策である「人口戦略」とSDGsの理念に基づき持続可能な地域社会を目指す「未来都市の実現」、及び「第2期復興・創生期間に係る対応方針」を重点項目として策定しています。

### 地方創生の取組

#### 人口戦略

- 1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる
- 2 絆を大切に人が集まるまちをつくる
- 3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる
- 4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる

#### 未来都市の実現

- 1 コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる

### 第2期復興・創生期間に係る対応方針

- 1 災害に強いまちづくりに向けて復興事業を確実に推進する
- 2 活力ある地域社会の形成に向けて被災者の心の復興を推進する



※総合計画の詳細は、石巻市のホームページで公開しています。

「基本構想・基本計画」

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0030/d0030/d0010/index.html>

# 石巻市へのふるさと納税 お待ちしています！

**問** ふるさと納税とは？

寄附の使い道を選べる

**答** 出身地や応援したい自治体へ

寄附のお礼として特産品をお届け

**寄附** することができる制度です。

寄附額に応じて税金が控除される

石巻市へいただいた寄附金は「笑顔と自然あふれる元気なまち」の実現のため、活用させていただきます。

## ふるさと納税の流れ

### 1 控除上限額を調べる

上限額は、給与収入・家族構成のほか、医療費や住宅ローンなどの控除額によって変わります。各社ふるさと納税サイトが用意している上限額シミュレーションで、目安額を知ることができます。※シミュレーション結果はあくまで目安です。実際の控除上限額を超えての寄附は可能ですが、その部分は税控除の対象にはならず、自己負担となります。

### 2 返礼品・使い道を選んで、申し込む

### 3 自治体から 受領証明書 と 返礼品 をお届け

### 4 控除のための申請をする

ふるさと納税は、1月1日～12月31日で申込期間が区切られています。この間に行った寄附額全体のうち、自己負担額2000円を除いた部分について還付・控除を受けることができます。

#### 確定申告

自治体から届く「受領証明書」を添えて確定申告を行ってください。所得税による還付と、翌年6月～翌々年5月の住民税が控除されます。

#### ワンストップ特例申請

「確定申告が必要ない給与所得者」で、「1年間の寄附先が5自治体以内」の方向けの制度。要件を満たしていればふるさと納税のためだけに確定申告を行う必要はありません。ワンストップ特例申請書を寄附した自治体へ提出してください。翌年6月～翌々年5月の住民税が控除されます。※申請の流れなどは寄附した自治体の案内を確認してください。

石巻市ふるさと納税「がんばる石巻応援寄附」のお申込みはこちら！



インターネットで申し込む

各社ふるさと納税サイトをご利用いただくと申込～決済完了が簡単に済ませることができます。また、クレジットカードをはじめ、様々な支払方法が用意されています。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税

ANAのふるさと納税

さとふる

ふるなび



紙のカタログと  
申込書で申し込む

資料を郵送いたしますので石巻市ふるさと納税事務センターへお問い合わせください。

TEL 0120-832-230

FAX 0225-94-1283



詳細は石巻市ふるさと納税特設サイトをご覧ください。➔

## 石巻市の返礼品

ふるさと納税では、いただいたご寄附へのお礼として地域の特産品を受け取ることができます。石巻市では、寄附額5000円～40万円の返礼品を取り扱っています（令和4年3月時点）。



他にもたくさんの特産品を取り扱っています！

## 石巻市の実績

令和2年度寄附額 約3億5700万円

### 寄附の使い道

- 地域コミュニティ活動・防災・公共交通・震災伝承の推進など
- 環境保全や生活基盤の充実など
- 健康・福祉・医療の充実など
- 産業の振興など
- 教育文化の推進など
- 行財政運営の推進など



# \*\*\* 石巻中学校への寄付のご報告 \*\*\*

——「創立 75 周年記念」及び「門脇中学校との統合元年を記念」——

東京・石中会 会長 加藤友成（18 回生）

令和 4 年 2 月 15 日にオンライン形式で寄付金 40 万円の石巻中学校への贈呈式が開催されました。会員の皆様から心のこもった募金を頂きました。ご協力・ご支援に感謝とともに心より御礼申し上げます。ここに報告申し上げます。

募金活動は令和 3 年 9 月 1 日から 12 月 31 日まで行われ、東京・石中会の積立金を合わせての寄付となりました。贈呈式は当初は 1 月 25 日に対面形式の予定でしたが新型コロナの為にオンライン形式に変更されました。

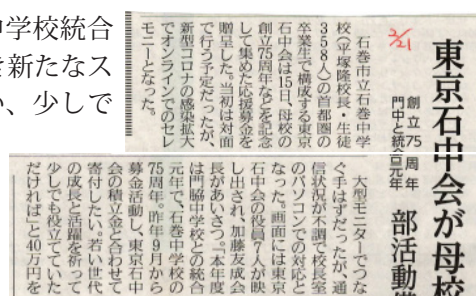
贈呈式当日には石巻中学校関係者として校長の平塚隆先生をはじめとして千葉教正 PTA 会長、熱海羚央生徒会長、佐藤伸一郎教頭先生、等の方々が校長室に会され、東京・石中会からは役員 7 名がオンラインで参加しました。

贈呈式は初めに「参加者の紹介」、そして「加藤からの挨拶」、「贈呈セレモニー」、「平塚校長先生からのご挨拶」、「記念写真」、等という形で進行了しました。

挨拶では今年度は「門脇中学校との統合により新石巻中学校統合元年」そして「石巻中学校創立 75 周年」という記念すべき新たなスタートの年を迎え、若い世代の皆さんの成長と活躍を願い、少しでもお役に立てればという思いをお話させて頂きました。

平塚校長先生からは「沢山の思いの詰まった志に感謝し、これからも少しでも進化していく石巻中学校であるように努めていきます。寄付金は部活動で使うユニホームなどの備品購入に使います。」とのご挨拶を頂きました。

これからの新しい石巻中学校の更なる発展と生徒の皆さんのご活躍を願ってやみません。



(石巻かほく提供、2022 年 2 月 20 日) (石巻日日新聞提供、2022 年 2 月 21 日)

## 「想定外」を乗り越えて

群鴉会 会長 浅野 亨(10 回生)



「ちょっと東京へ行ってきます」という会話が日常化したのは、いつ頃からだったろうか。日本列島の姿を、移動する時間軸で見直してみたら、どんな地図になってしまうのか、非常に興味深いといつも思っていました。

石巻から東京への所要時間は、この約 50 年の間に劇的に短縮されました。高速道路・新幹線で多くの人の活動範囲が急速に広がり、便利となり、それが「当たり前」と信じ切っていました。が、ここ 10 年の大地震で、その常識が打ち破られ、私達の「生活基盤のよろさ」を実感させられました。正に「想定外」、現実には厳しいものですね。

そんな中で、東北の中の石巻・宮城県の中での石巻の存在を明確にする為には、どんな視点で見直し、計画し、実行していくのか、今大きな岐路に立っています。「皆でやる気があるのか」石巻の本気度が試されているのです。

衆知を結集して、誇れる石巻に向けて一歩前に進んでいければと思う此の頃です。

又、お会いしましょう。

## 統合そして改修へ

石巻中学校 第28代校長 平塚 隆



先日は、東京・石中会 加藤友成会長様をはじめ会員の皆様には、「石巻中学校応援募金」ということで、たくさんの思いの詰まったお志を頂戴し、心から御礼申し上げます。皆様の思いに応えられるよう大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

昨年の4月6日の朝、門中生を迎え、一緒になって春の空へ色とりどりの風船を飛ばしてから、間もなく1年になるのだと改めて感じています。その間、全校生徒358名が一丸となって、運動会や群鷗祭等の学校行事、中総体や新人戦等の中体連行事に取り組んできました。同じ中学生とはいえ、これまでとは違う文化や環境の中で生きてきた生徒たちにとって「はい、今日

から統合です。仲良くしましょう。」と言われたところで、なかなか消化できないものがあつたろうと想像しています。それでも、「新生石中生」として、新しい歴史を作っていこうと、学習に生活にそして部活動に懸命に頑張ろうとする姿が見られたことを校長として誇りに思っているところであります。統合は3年間を掛けて完結するものだと思います。今年より来年、来年より再来年と、少しずつでも進化・発展していけるような石巻中学校であり続けられるよう、今後も、生徒と教員そして保護者が一体となって努力してまいりたいと思っています。実は、本年度の夏休み明けから、本校舎や体育館等の大規模改修工事が始まることとなり、今度は門脇中学校に引越すこととなりました。工事の完了予定が令和6年2月ということで、約1年半、門脇中学校で生活することになります。今後ともよろしくお願いたします。

結びになりますが、東京・石中会の益々のご発展と会員の皆様のご健康を祈念いたしますとともに、今後とも石巻中学校に熱いご支援を賜りますようお願いを申し上げて挨拶とさせていただきます。

## 着任のご挨拶

石巻中学校 第29代校長 山内 芳明



盛夏の候、東京・石中会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私は、この春の人事異動により、石巻市教育委員会から着任いたしました山内芳明と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年度の本校は、校庭の桜の開花とともに120名の新入生を迎え、全校生徒356名、教職員39名でスタートいたしました。東日本大震災後10年が経過し、令和3年度には門脇中学校と統合いたしました。生徒たちは脈々と受け継がれてきた伝統と誇りを大切にしながら、日々勉強や部活動に励んでおります。

私事になりますが、本校には平成17年度から平成23年度までの7年間勤務しており、東日本大震災は本校在職中の出来事でした。この10年で街の様子は変わりましたが、校舎4階から眼下に広がる太平洋は以前と変わらず、まぶしくきらきらと輝いています。

校舎の老朽化のため今年秋から大規模な改修工事が始まり、完成するまで1年以上にわたって旧門脇中学校の校舎で学校生活を送ることとなります。石中心得である「自主」「自律」「品位」を掲げて教育活動を推進して参りたいと存じます。

結びになりますが、東京・石中会の皆様からのご支援に深く感謝いたしますとともに、皆様のますますのご発展をご祈念申し上げ、着任の挨拶とさせていただきます。

### 石巻の未来へ向かって！

優しさと豊かさの創造

**宮城ヤンマー株式会社**

代表取締役社長 浅野 亨

〈本社・工場〉 宮城県石巻市松並一丁目14番5号

TEL (0225)93-2121(代)

〈拠点〉 仙台支店・盛岡営業所・気仙沼営業所・不動町工場

《取扱商品》

○ディーゼルエンジン

○常用・非常用発電装置

○海水清浄装置

○コージェネレーションシステム

○FRP船

○ヤンマー純正部品

○土木資材等の販売及び修理・メンテナンス

URL: <http://www.miyagiyanmar.co.jp>

# 石巻中学校コーナー

## ＜石巻中学校と門脇中学校の統合セレモニー＞

今年度、4月6日に石巻中学校と門脇中学校の統合セレモニーを開催しました。両校の生徒会長の挨拶やお互いの校歌の披露などを行いました。写真は両校生徒全員で、風船を空高く上げているときの写真です。このセレモニーの2日後に、令和3年度の始業式及び入学式が無事行われました。



## ＜石巻地区中総体壮行式＞

今年度の中総体は、大会自体はコロナ前と同じ形式で行うことができました。しかしながら、密を避けるため、保護者の観戦はできませんでした。写真は、普段は体育館で行われている壮行式を、コロナ対策のため校庭で行っている様子です。統合後の初の公式戦でもありました。



フレー！フレー！



悔いのないよう戦ってきます！





## <石巻中大運動会>

晴天のもと行われた運動会。例年よりも縮小し午前のみの開催となりましたが、3年生の応援リーダーを中心に、3つの縦割りチームに分かれて大熱戦を繰り広げました。統合後初の大運動会でもあり、緑のジャージも一緒に賑やかな戦いが繰り広げられました。



皆楽しそう！



運営委員の皆様お疲れ様です！



宣誓！！

## <石中群鷗祭（文化祭）>

今年度の文化祭は、学年の発表毎に保護者を入れ替えるなど、体育館の収容人数を制限しての開催となりました。生徒たちは合唱コンクールや演劇「千と千尋」、ミュージカル「ウエストサイドストーリー」の発表に向け、熱心に練習に励み本番を迎えました。文化の風薫る素晴らしい行事となりました。



練習の成果を発揮できるかな！



熱演が伝わってきます！

## <修学旅行（3年生）>

予定では、9月に東京方面の旅行を企画していましたが、東北方面（山形、秋田）に切り替え、1泊2日の思い出を作りました。各クラス毎の自主研修を含め、ディズニーランドには行けませんが、笑顔いっぱいの楽しい旅行になりました。



さあ、次どご行くべが



あー、腹くっつい！



# ドイツ便り～パンデミックと向き合う生活

## ゲルティンガー祥子 (44 回生)



夫の仕事の都合のため家族四人でドイツのシュトゥットガルトへ転居してから、早いもので1年が経ちました。人口約63万人のシュトゥットガルトはバーデン＝ヴュルテンベルク州の州都で、ポルシェやダイムラー、ボッシュをはじめとする世界的企業が本社を構える工業都市として知られています。ドイツで暮らすのは1995年～2008年のベルリン生活以来、13年ぶりの2回目となりますが、今回は新型コロナウイルスのパンデミック真っ最中の引っ越しということで、スタートはなかなか容易ではありませんでした。

こちらに到着した2021年1月末時点では、街は完全なロックダウン（都市封鎖）、学校も初等部はいわゆる自宅学習、中高等部はオンライン授業でした。オンライン授業は通常の時間割通りの授業をそのままオンラインにて自宅で受講するという形式のもので、生徒は朝から夕方まで毎日パソコンのモニターと向き合うことになります。始めの頃は慣れない仮の家で1日中机に向かう子供達2人のサポートをすることが私の役目でした。

た。

新しい学校生活が全てオンライン上でスタートするという感覚は、私の世代には想像し難いものでしたが、これを機に新世代感覚の可能性というものを目の当たりにすることになります。オンライン、SNSやチャットであつという間にクラスメートとつながり、そのままスムーズにクラスに溶け込んでいくのには正直驚かされました。

当時は屋内で会うことができる人数や夜間の外出時間などの厳しい制限があり行動が限られてはいましたが、ここに住む元々の友人や知人達とのコミュニケーションがあつたおかげで、ロックダウン中でも比較的孤立感無く過ごすことができました。

そんな時期によく皆でしていたのが、週末のハイキングです。シュトゥットガルトは先に述べた工業都市としての顔だけではなく、たくさんの自然にも恵まれています。郊外にはシュヴァルトヴァルト（黒い森）やシュヴェービシェ・アルプをはじめとする高地の連なりがあり、市内から車で40分程走れば素晴らしい自然の中でハイキングを楽しむことができるという環境にあるのです。毎週のようにひたすら10キロ程度のコースを歩いたものです。

ドイツで着用するマスクは医療用マスクのみと厳しく定められていますが、屋外においてはマスク着用の義務がないため、ノーマスクでいられる時間を自然の中で満喫できることは何よりです。

### 石巻の未来へ向かって！

東京・石中会の発展を祈念します

弁護士 **鈴木 雅芳** (26 回生)

多田総合法律事務所

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-4-13 ノブルト平河町 201 号室

TEL : (03) 6261-3822 FAX : (03) 6261-3823

E-mail : suzuki@ts-law.jp

東京・石中会の発展を祈念します

弁護士 **相澤 貞止** (18 回生)

弁護士法人 岡部・山口法律事務所

〒104-0033

東京都中央区新川 1-5-17 エイハ新川 5 階

TEL : (03) 3555-7931 FAX : (03) 3555-7934

E-mail : a-teishi@olo.gr.jp

こちらでは常に過去7日間の10万人あたりの新規感染者数(以下基準値)に基づいて予防対策が行われています。例えば昨年1月時点では基準値が100以上になるとハイリスク地域となり、様々な規制がかけられましたが、夏の時点では200以上がハイリスクと改定され、その後も増加し続ける基準値が直接ロックダウンにつながる可能性はいつしか消えました。

その代わりに導入されたのが、店舗入店時や行事などにおける証明書(ワクチン接種証明、感染からの快復証明、コロナ検査陰性証明)の提示義務です。ちなみに抗原検査に関してはあちこちにたくさんの検査場が設置され、市民はいつでも無料で気軽に検査を受けることができます。学校でも生徒は抗原検査を受ける義務があり、授業が始まる前に自分達で鼻に綿棒を入れ、検査液に浸し…という作業を週に数回(回数は状況に応じて常に変更されます)行うのです。習慣とはすごいもので、小さな子供たちもあつという間に一人で上手にできるようになりました。抗原検査キットは200~300円程度で購入できるので、ほとんどの人が自宅にストックしています。

さて、その後証明書提示義務のルールは更に厳しくなっていきます。一番厳しい時で、ワクチン全回接種済みや感染からの快復者でも、コロナ検査陰性証明書やブースター証明書と身分証明書が更に必要になり、ほとんどの店舗入店時や公共交通機関利用時に提示することが義務化されました。こうして書きながら思い返していると、この一年間で記憶しきれないくらい規制の変動があったのだと実感します。日々変わるルール、しかもそのルールがかなり事細かに定められており次の日からの日常生活に即影響するため、政府のアップデートから目を離せない日々が続きました。

昨年の夏前には一時期感染者の数も減少傾向になり、周りでは“飛行機に乗らない近場への海外旅行”に出かける人も多くなりました。日本からの海外旅行とは違って、欧州にいると外国は陸続きになっているため、必ずしも飛行機に乗る必要はありません。例えばシュトゥットガルトからですと、隣接国のフランス、スイスやオーストリアまで車で約2時間程度で着いてしまいます。私達もロックダウンが解除された昨年の5月以降、コロナの波の合間を縫って車でヨーロッパ国内の旅へ何度か出かけましたが、同じヨーロッパの中でも国によってパンデミックへの向き合い方はそれぞれ違うものだと身をもって感じました。

国や人によって様々な見解があると思いますが、とても興味深いのは、今現在このコロナという一つのウイルスによって、全世界の人々が同時に共通のテーマに向き合っているという事実です。以前はなぜ日本人はよくマスクをするのかと疑問を持っていたドイツ人の友人たちも、今では当たり前のように毎日マスクをし、まめに手を洗っています。またロックダウンや隔離、自粛の経験によって、私たちのテクノロジーとの付き合い方も大きく変わりました。ちなみに私の職場である音楽業界もかなりデジタルに移行し、ストーリーミングの需要が一気に拡大しました。こんなに海外渡航が難しい状況になったのにも関わらず、なんだか世界が遠くなるどころかある意味近くなったような気さえするのは私だけでしょうか。

2月の現時点でまだまだ安心とは言えませんが、こちらも日ごと日照時間が長くなり、季節の移ろいと共に気分も明るくなっていくような気がする今日この頃です。近いうちにまた石巻に帰って美味しいお魚が食べられる日を夢見つつ、一日も早いパンデミックの終息と、東京・石中会の皆様のご健康をドイツより心からお祈りいたします。

石巻の未来へ向かって！

電話 0225(95)0352 <b>東北プランニング株式会社</b> 広告代理 製作 IT関連	大正二年創業 鰻 割烹 <b>八幡家</b> 松川横丁 電話 0225(22)0138	電話 0225(93)5111 <b>株式会社 齋武商店</b> 鉄スクラップ古紙リサイクル	愛する地域を未来の笑顔につなげます <b>株式会社 石巻日日新聞社</b> 電話 0225(95)5231	石巻市南中里四丁目七十七 <b>株式会社 小松塗料店</b> 電話 0225(22)6258	東京都港区新橋4-18-4 1F <b>イルマツジヨ</b> 赤い扉のカジュアルBAR (土・日・祭日休) 電話 03(6809)2823	<b>東京・石中会</b> <b>広告募集中</b>
--	--	--	---	--	---	-------------------------------

# 魚の街、石巻から魚食文化復活を！石巻さかな女子部

合同会社よあけのがみ代表 / 石巻さかな女子部部長 塩坂佳子



私が東京から石巻に移住したのは2015年、秋のことでした。それまで長く編集者やライターとして雑誌の仕事に携わってきた私は、市の産業復興支援員として迎えられ、得意分野を活かして全国に石巻の良さを発信するというミッションをいただきました。そこでまず立ち上げたのが『石巻さかな女子部』です。「魚の街、石巻から日本の魚食文化復活を叫ぶ！」を合言葉に、石巻の豊かな水産物を紹介しつつ、全国で魚を食べる人を増やそうという目論見がありました。

最初の2年間は、まず石巻に住む自分たちが魚をおろせるようになるうと、中央にある老舗鮮魚店『魚長』さんに弟子入りし、魚のおろし方を学ぶ「旬のお魚おろし会」を月に一度開催。川開きをはじめとする地域のイベントなどにも積極的に参加して、魚食文化を通して街を盛り上げる活動を行ってきました。

2017年秋に私が独立起業後も、市の許可を経てプライベートな活動として継続。メンバーは20代～60

代と幅広く、職種や立場もさまざまな女性たちが最盛期には30～40人も。といっても会員制などではなく、活動時にFacebookの非公開グループ上で都度、参加者を募るというスタイルなので、都合が合わずになかなか参加できない、という人も多いため、お世話になっていた鮮魚店『魚長』さんが閉店。まもなくコロナ禍となり、みんなで集まれる機会はなくなってしまいました。

しかしその分、最近は未利用魚のレシピ集制作や魚食文化のPRイベントの実施など、外部の企業や団体からお仕事の依頼を受けるようになり、少数のコアメンバーに声を掛けて協力をあおぎ、細々と活動を続けています。その中には、石巻中学校出身の船岡由美さん(1974年卒)や阿部智美さん('78年卒)、昨年、東京からUターンされた鈴木貴美恵さん('83年卒)などがいて、とても頼りにしています。



皆さんいい笑顔ですね！

さて。震災ボランティアをきっかけに移住までした私ですが、実のところは、石巻の美味しい「食」とのんびりとした地方暮らしに心惹かれたのが8割でした。特に魚介には目がなくて、東京から夜行バスでボランティアに来る時も、空っぽのスーツケースを持参しては、ぎっしり詰め込んで帰るという荒業を繰り返していたのです。

もともとは大阪出身で、東京に出てくる前の2年間は、人生の寄り道をしようと小笠原諸島の父島で毎日釣り船のお手伝いをして暮らしたことがありました。その時に、今から思うとまるで『さかなクン』の船長から、魚食の楽しさや魚おろしの技術を学んだ……。あの体験はいったい何の役に立つのだろう？と、その後の都会暮らしではふと思うこともありましたが、まさかその約15年後に、ここ石巻で花を開かせようとは。人生って、まったく無駄がありませんね。

しかしながら、港町・石巻=魚食文化の最先端と思いでいた私は、移住後さっそくショックを受けました。買い物は全国どこにでもある大手スーパーがメインで、鮮魚コーナーには国内外の遠い海から運ばれてきたパック入りの切り身ばかり。被災の影響もあるでしょうが、とにかく地元の魚が少ないのです。なぜこれほど海の幸が豊かな街で、冷凍モノやパック入りを買わなきゃならぬのだ、これじゃあ東京と同じじゃないか、といぶかしく思っていると、住民のみなさんが「だって魚なんて自分でおろせないモン」と言うではありませんか！

そこで私は文頭の通り、真っ先に『石巻さかな女子部』を立ち上げることにしたのです。自分ひとりでもいい、鮮魚店に弟子入りし、魚をおろす姿をブログで発信しようと考えました。が、記事の2号目にはすでに数人の仲間が参加、その後も、みるみる参加者が増えていきました。みんな、やってみたかったんですね。多くの人が「自分で魚をおろせるようになりたいと思いつつ、教えてもらえる場がなかった」とおっしゃいました。これは石巻だけでなく、日本全国、世界中にニーズがあると思われます。

以来、私たちは出入り自由、1回だけでもOKという気軽さで、たくさんの人に魚おろしを伝授しました。活動の最後には必ず、おろした身は刺身で、頭や骨からも出汁をとり、みんなで潮汁(あら汁)をいただきます。これを体験すると一尾の魚の中に、どれだけの豊かさが詰まっているかを知り、多くの人が感動します。パックの切り身では味わえない価値、自分たちが便利さと引き換えにいかに貴重なものを取りこぼしてきたのかを知るきっかけになるのです。

また、この活動を通して、私自身も本当に豊かな交友関係を築くことができ、石巻ライフがどんどん楽しくなっていました。アラフィフまたはそれ以上であるメンバーたちがキャッキョ、キャッキョと集うさまは、まるで文化祭。楽しみながら、石巻の水産PRや子どもたちの食育にもつながる活動に賛同し、それぞれの得意分野で力を発揮してきました。『石巻さかな女子部』は今年で7年目を迎えます。ゆくゆくは、東京でも三陸の水産PRや魚食文化復活のためイベント開催などができたら、と考えています。さらには『石巻さかな女子部—東京支部』の結成もぜひ。その時はどうぞ東京・石中会のみなさま、ご声援ご鞭撻のほど、よろしく願います。

お仕事では編集、執筆業のほか、牡蠣やほや、わかめ、鯖など石巻の名産品をキャラクターにしたオリジナルブランド『東北☆家族』グッズの企画・販売、広報物やイベントの企画・制作、民泊『よあけの猫舎』の運営などを行っています。

# 掴み取った夢・仮面ライダーの世界

俳優 小松準弥さん (62 回生)

友よ！第12号(H28年)で紹介した小松準弥さんの続報です。

現在子どもの頃から追い続けた“仮面ライダーに出演したい！”という夢を実現させ、昨年9月から放送の「仮面ライダーリバイス」では門田ヒロミ役を演じ、見事に仮面ライダーに変身しています。そして今年度のいしのみき観光大使に新たに選ばれ「たくさんの方に石巻の魅力や温かさを知ってもらいたい」とコメントしています。

—そんな小松準弥さんへ一問一答をお願いします。

## ●近況について【現在】

Q1. 「仮面ライダー」出演をはじめとして最近の活動状況についてお知らせください。

A. 仮面ライダーリバイスの撮影や歌劇『桜蘭高校ホスト部』などの舞台への出演、また直近だとカレンダー発売イベントとして地方を周り、応援して下さるファンの方々とお会いする機会を作らせていただきました。



## ●目標(夢)とその実現に向けて【将来】

Q2. 最終的な目標(夢)は何ですか？

A. 現時点で言葉にするなら、少しでも多くの人々の心が豊かになったり、笑顔に繋がるきっかけを沢山作れたら嬉しいなと思っています。そのためにも様々な作品に触れ、皆さんの目に多く留まれるよう演技続けていきたいです。

Q3. 夢の実現の為に心掛けていること、取り組んでいることは何ですか？

A. 現場はもちろん日々の生活の中でも、人との繋がりや人を大切にすることを心掛けています。何をするにも、一人一人丁寧に関わっていくことはきっと大切なことだと思います。一人では表現することができないということを忘れず、感謝の気持ちを持って沢山のひとと接していきたいですし、また見て感じることで役者として大切な部分にも沢山気づけることが多いです。

## ●石巻について【石巻】

Q4. 中学校時代の一番の思い出は？

A. 剣道の全国大会に出場したことです。中学三年間は特に剣道に注いだ時間が長かったことと、この全国大会出場をきっかけに“諦めなければ夢は叶う”と信じることができ、今現在夢に向かって走り続けることができているので一番の思い出です。

Q5. 東京・石中会への応援メッセージをお願いします。

A. この度、小松準弥を取り上げていただきありがとうございました。地元を離れても石巻を盛り上げ続ける皆様のパワーに胸を打たれています。また、東京・石中会の皆様に応援していただき、僕自身もすごく背中を押していただいている感覚と共に仕事に取り組むことができているので、これからも丁寧に仕事に向き合い、東京・石中会や地元宮城県、石巻を盛り上げていけるような俳優になれるよう尽力します。本当にありがとうございました！



※他にもいろいろな一問一答があります。詳しくは東京・石中会 HP(<https://tokyosekichukai.net>)に掲載しますので、そちらもご覧ください。

(綱島祐子・31回生)

## 石巻の未来へ向かって！

<p>かながわの地酒専門店</p> <p>小料理 はあづき</p> <p>神奈川県横浜市中区住吉町5-63 TEL.045-633-2627</p>	<p>地域の未来と環境を考える <b>若生工業株式会社</b> — I S O 9 0 0 1 ・ 1 4 0 0 1 ・ 4 5 0 0 1 認証登録 —</p> <p>〒986-0871 石巻市清水町2丁目3番3号 TEL 0225-94-1111(代) FAX 0225-22-3992 <a href="http://www.wakoinc.co.jp">http://www.wakoinc.co.jp</a></p>	<p>都市ガス(天然ガス)・プロパンガス</p> <p><b>石巻ガス株式会社</b></p> <p>石巻市中央2-7-38 TEL.0225(96)3007</p>	<p>美味しい!を笑顔でお届けします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>*野菜のサブウェイ</li><li>*お肉のペッパーランチ</li><li>*クレープのディッパードン</li><li>*ホテルレストラン事業</li></ul> <p><b>株式会社 ゼンインターナショナル</b></p> <p>石巻市西山町3-1 電話0225-94-6792</p> <p>代表取締役 木村美保子</p>
--	--	---	---

# ア・ラ・カ・ル・ト

## 「いしのまき大賞」2個人2団体受賞

—個人では、石巻中出身の佐藤美里さんも—

石巻商工会議所は、令和3年度の「いしのまき大賞」に2個人2団体を選出、3月2日に表彰しました。大賞は、各方面での活躍を通し、石巻市の名前を広めて郷土の発展に貢献のあった人を讃えるもので、今回が15回目になります。

個人では、東京五輪男子バレーボールの日本代表で、石巻市雄勝町出身の藤井直伸さん（30歳、Vリーグ東レアローズ所属）。平成29年から全日本にセッターとして招集され、アジア選手権で優勝、ベストセッターに選ばれ、昨年の東京五輪では日本の8強入りに貢献し、「石巻市民へ希望を与えた」と評価されました。

また、全国高校総体の陸上競技女子200メートルで23秒71の記録で全国制覇した佐藤美里さん（石巻市門脇～石巻中出身で常盤水学園高校3年）が、県勢では同種目初の制覇となった栄誉を讃えて大賞が贈られることとなりました。佐藤さんは、同大会の100メートルで4位、4×100メートルリレーでも7位に入賞しています。

団体では、東日本大震災の復興支援や伝承活動を行う公益社団法人3.11みらいサポート（石巻市門脇）が受賞。平成23年に設立した石巻災害復興支援協議会が前身で、翌年に現在名となっています。昨年門脇小近くに伝承交流施設「MEET 門脇」を開所。伝承活動を通し、子供らの防災意識啓発に尽力した功績が高評価されました。

そして、寄付車を活用した支え合いの仕組み作りを進めてきた一般社団法人日本カーシェアリング協会（石巻市駅前北通り）が、選出されました。同協会は平成23年7月に設立、コミュニティ・カーシェアリングの仕組みを広め、支え合い関係作りを後押し、熊本地震や豪雨被災地でも「石巻モデル」の支援を実施しました。

（石巻日日新聞提供 2022年1月21日）

<構成・文 岩崎 久仁夫（18回生）>



## 「南浜・津波伝承館」開館から半年

—来館者2万7千人以上、展示に好評価—

石巻南浜津波復興祈念公園内にある「みやぎ東日本大震災津波伝承館」が、令和3年6月6日の開館から半年を過ぎました。来館者数は、新型コロナウイルスが再拡大した夏場は客足が遠のいたものの、11月末までに累計2万7681人となりました。多い日で1日平均200人以上が来館、多くは県外からで、修学旅行などの団体客が増えています。

伝承館では、県全体の被害や復興の歩みを発信しており、津波の教訓を伝えるシアターや被害をまとめたパネル展示、県内の語り部団体の活動・証言映像が視聴できる情報端末などを設置しており、また被災経験者を含め各所に解説員を配置しています。

国から建物を借りて伝承館を開設している県が行っている来館者アンケートでは、施設全体の評価は8割が好印象を持っており、震災を学ぶ目的での来館が大多数でした。

また、伝承館は震災を学びに来る人の最初の目的地とし、他の施設に誘うゲートウェイに位置付けられていますが、今年4月には震災遺構門脇小学校が新たに公開され、また震災遺構大川小学校も市内にあるなど、伝承施設は県沿岸部の端から端まであり、一日では回り切るのが難しいことや、施設ごとに休館日が異なるなどの課題も残されています。


伝承館の担当者は「来館者や伝承に関わる団体の意見を聞きながら工夫を重ね、ゲートウェイとしての機能を高めていきたい」と話しています。

（石巻日日新聞提供 2021年12月11日）

<構成・文 岩崎 久仁夫（18回生）>



### 石巻の未来へ向かって！

<p>電話 0225(22)2971</p> <p>市役所通り</p> <p><b>栗野蒲鉾店</b></p> <p>水産庁長官賞に輝く名品</p>	<p>電話 0225(22)1030</p> <p>あけぼの北一ー十</p> <p><b>井上海産物店</b></p> <p>海産物のお土産なら</p>	<p>電話 0225(22)1842</p> <p>アイトピア(大町)通り</p> <p><b>そば処もりや</b></p> <p>老舗の美味しいおそば</p>	<p>電話 0225(22)0727</p> <p>イトピア(大町)通り</p> <p><b>株式会社 京屋</b></p> <p>きものと帯</p>	<p>電話 0225(22)1258</p> <p>グラントホテル並び</p> <p><b>寶来寿司</b></p> <p>味が宝、のれんも宝の老舗</p>	<p><b>BERU</b> 株式会社 ベル技研工業</p> <p>精密機械部品加工のパイオニア</p> <p>多様化するニーズに合わせ高品質・高精度な精密機械部品や宇宙機器部品を製造及び加工</p> <p><b>株式会社 ベル技研工業</b></p> <p>代表取締役 鈴木清勝 (18回生)</p> <p>〒223-0052 横浜港北区綱島6丁目16番16号</p> <p>TEL 045-541-6656 info@beru.co.jp</p> <p><a href="http://www.beru.co.jp">http://www.beru.co.jp</a></p> 
--	--	--	---	--	--

# 会員からのお便り

## 第3回生 武山勝

コロナ禍での会の運営ご苦労様です。感染者数は減少傾向にあるとはいえ、相変わらずの塾居生活が続いています。幾つかあった集りはすべて中止となりましたが、そのうちの1つの古文書の勉強会のみオンラインで継続しておりますが、足腰は劣化傾向にあります。来年は総会で皆様にお会いできるの楽しみにしております。

## 第5回生 徳江明

一人暮らしの高齢者の安否を確認するため、見守り活動を続けています。これは体力維持のため、散歩を兼ねています。又、相続・遺言などをテーマとする講話の準備もすすめています。老人会の役員として運営の端役を担っています。お互いに刺戟となっているようです。

## 第7回生 橋本洋二

残暑もようやくやわらぎ  
何気無く健全に生活しております。

## 第8回生 首藤光春

「渡るなら三途の川より天の川」  
こんなことを考える経年となったのか。  
打ち消したいもう一句。  
「八十路過ぎ恋のカケラをポケットに」  
生きてる限りは青春だ

## 第9回生 早田光 (旧姓:石島)

加藤さま。いつもお世話になっております。早田光の長男、ヨシヒサと申します。母は昨年3月より宇都宮の介護付きホームにお世話になっております、が益子には引き続き私たちが住んでいます。会報のご案内、母がよろこびます。今後ともご差配の段、何卒、お願い申し上げます。

早田禎久拝

## 第9回生 滝川喜久子 (旧姓:三浦)

元気に週2回テニスを楽しんでいます。

## 第10回生 角田守弘

元気にすごしています。

## 第13回生 赤塚誠哉

昨年1月のコロナ感染者発生以来自粛生活で、仕事に出掛ける以外は家で過ごす毎日です。最低年2回の墓参、温泉も出来なくなってしまいました。幸い10月に入り感染者が激減して、10月15日には久しぶりで会食ができました。外での飲食はやはり気持ちのよいものです。今後の感染の推移は気になりますが、基本的にはマスク・手洗い・嗽は日々欠かせないと覚悟しています。

## 第13回生 岡田ちづ子 (旧姓梶谷)

役員の方々お世話を頂きありがとうございます。皆さまお元気でしょうか？  
私はテレビを分身として「何だっけ生活」に日々勤めています。  
初冬になりふと振り向くと……浮かぶのは「恵比寿まで 小さな旅よ 日吉から」……逆旅を楽しみながら時には前旅も。「波に揺れ 小さな旅のかもめさん」……皆さまお元気でいらしてくださいね。

## 第13回生 佐々木次臣 文江 (旧姓堀口)

今年妻と2人で元気で「喜寿」を迎えました。妻とは小中同級生です。貴会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

## 第16回生 小山慶孝

コロナ蔓延下「ふるさとは遠くにありて思うもの……」しみじみ感じます。  
又、ゴルフをしながら年々「老い」を想い、ゆっくりした時を刻む毎日を送っています。

## 第17回生 熊谷道夫

コロナ禍で自粛中ですが、たまに来る4才の孫(男)から刺激と活力をもらっています。かろうじてゴルフと水泳で体力維持に努めています。

震災後10年を過ぎましたが、本当の意味の復興を願っています。

## 第18回生 岩崎久仁夫

令和3年10月となり、感染者の数がだいぶ減りました。リバウンド無くのまま終息して、来年は総会が開催されることを祈ります。皆さんお元気で！

## 第18回生 遠藤良子 (旧姓渋谷)

令和元年5月に宮城県からこちらに転居してきました。宜しくお願い致します。

## 第18回生 小澤賢二

可もなく不可もなくたって健康にて酒の量とゴルフの距離は落ちる一方……。皆さんご健勝で。

## 第18回生 佐々木典雄

3月に亡くなった7回生の浅野健治さんとは奇しくもおなじ会社でした。3年前までの30年間一緒に小田原の酒匂川に鮎釣りに行ってました。鮎釣りの師匠でした。葬儀に呼んで頂きお見送りをしてきました。

2年前母を納骨してからコロナのせいで帰省の墓参りができません。来年こそは思っております。

## 第18回生 高梨誠

72才になりますが、健康第一で毎日すごしています。コロナ禍で旅行や飲み会も中止となり、友好活動もできない状態です。電話等で近況を報告しています。

## 第18回生 渡辺総一

昨年2020年10月に、石巻で絵画展をいたしました。石中・石高の同期生の皆様、石巻祈りの家の阿部様、石巻栄光協会、ワイズメンズクラブ、石巻クリスチャンセンター(※ナリサワ・ギャラリーのご支援)によって実現されました。ありがとうございました。母への追悼もこめ、娘二人の彫刻と版画も出品いたしました。わたしは、5年間のブランク後、ようやく描けた小品10数点と小品の水彩・パステル画60数点を展示しました。なによりも、郷里の懐かしい方々とお会いできましたことを、以来ずっと感謝いたしております。

## 第24回生 原田康弘

パラリンピックも無事に終了しホッとしております。来年の世界パラ陸上(神戸)、2024年のパラリンピックまでかわることになりそうです。

## 第29回生 阿部泰

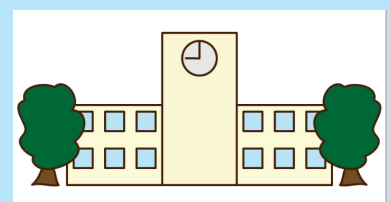
お世話になります。「友よ！」などで石巻の状況をお知らせいただき感謝申し上げます。2回目のワクチン接種も終了、元気に働いております。今後とも宜しくお願い致します。

## 第29回生 久保眞治

29年間の国連勤務を経て、昨年未帰国、今年いっぱい早期退職・本帰国を予定しております。妻(旧姓:遠藤恵美)も私と同じ石中の同窓です(S51年卒)。今後ともよろしく願っています。

## 第42回生 渡邊公威

早くコロナ禍が収まり、皆様に元気にお目に掛かれますよう願っております。そんな中ではありますが、石中会にリサイタルのご後援を賜り、心より感謝致します。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。



# 年会費の納入、ありがとうございました。

## ●令和3年度 東京・石中会 年会費払込者

[3 回生] 青沼義信・阿部 剛・武山 勝 [4 回生] 大熊正子・三浦貞夫 [5 回生] 徳江 明・早川幸子・平山貞夫 [6 回生] 長崎紀久子・中村繁子  
[7 回生] 伊藤恵子・橋本洋二 [8 回生] 市川洋子・川島あつ子・首藤光春・高嶋展廣・樽見和子・西井陽子・畠山 尚・松田勝治・山手てい子  
[9 回生] 菊池 正・梓田洋子・高橋洋治・飯田勝紀・青山さわ・早田 光 [10 回生] 緒方正子・亀山雄臣・川野澄子・田代勝彦・館 克憲・  
角田守弘 [11 回生] 池永貴美子・高橋和子・渡邊みよ・栗原光男 [12 回生] 今井あい子・岡崎國男・岡崎好子・金澤 洋・西條 修・西條純一・  
夏目都喜子・村上秀一・吉田義男・佐藤正克 [13 回生] 赤塚誠哉・植草良子・岡田ちづ子・勝島節子・小堀敦子・今野秀洋・竹内政子・  
八重樫典雄 [14 回生] 梅澤 智・細川忠勝・山中圭子 [15 回生] 今野和子・佐々木玲子 [16 回生] 青山憲介・小山慶孝・坂口いく子・鈴木禎子・  
星澤正孝・葉 良枝・吉田義弘・渡辺啓子 [17 回生] 岩崎宏幸・熊谷道夫 [18 回生] 相澤貞止・井桁美紀子・出雲雅明・岩崎久仁夫・  
小笠原けい子・小澤賢二・小野恵久子・小野敏幸・加藤京子・加藤友成・河口登喜子・北川知代子・小原あき子・駒場純子・佐々木典雄・  
志村明子・鈴木清勝・鈴木裕子・高梨 誠・高橋 誠・田村 隆・中西園子・西田美知子・本橋富久子・渡辺総一 [19 回生] 星 武雄 [20 回生] 岩田貴子・  
佐々木千代子・新田輝夫・茂泉吉則 [24 回生] 原田康弘 [25 回生] 榎野照子・師岡千英子・西崎恵子・土井敏彦 [26 回生] 大久保多賀子・  
鈴木雅芳・水澤 茂 [29 回生] 阿部 泰・久保眞治 [30 回生] 高橋章建 [31 回生] 岡崎一也・小野里淳子・酒井義孝・島貫裕之・綱島祐子・  
吉原麗子 [33 回生] 井上俊次 [34 回生] 星野知倫 [36 回生] 浅野 剛・松村紀代 [40 回生] 成家新一 [41 回生] 佐藤理樹 [42 回生] 渡邊公威  
[47 回生] 及川和彦

## ●ご寄付

[3 回生] 青沼義信・阿部 剛 [5 回生] 平山貞夫 [6 回生] 中村繁子 [7 回生] 伊藤恵子・橋本洋二 [8 回生] 樽見和子・西井陽子  
[9 回生] 飯田勝紀 [11 回生] 渡邊みよ [13 回生] 赤塚誠哉・八重樫典雄 [14 回生] 梅澤 智 [16 回生] 小山慶孝 [17 回生] 岩崎宏幸  
[18 回生] 相澤貞止・岩崎久仁夫・小笠原けい子・小澤賢二・加藤友成・小原あき子・志村明子・鈴木清勝・高橋 誠・西田美知子・本橋富久子・  
渡辺総一 [20 回生] 岩田貴子・佐々木千代子・新田輝夫 [25 回生] 土井敏彦 [26 回生] 鈴木雅芳 [29 回生] 阿部 泰・久保眞治  
[30 回生] 高橋章建 [40 回生] 成家新一 [42 回生] 渡邊公威 (以上、順不同・敬称略)

## ●「年会費」のお振込みに際してのお願い

- ・昨年度から青色の「払込取扱票」(ゆうちょ銀行)でのお振込みとなりました。手数料は会員様のご負担になりますので恐縮ですがご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。
- ・年会費は1,000円以上(単一年度分)でのお振込みをお願い致します。
- ＊複数年度分でのお振込みはお受けできませんのでご了承下さい。
- ・お振込先は右記の通りです。①加入者名:「東京・石中会」、②口座記号・番号:「00130-2-444072」
- ・「ご依頼人」の「おところ」「おなまえ」「ご連絡先電話番号」に加えて「通信欄」には「年会費」及び「回生」の記述が必要です。お振込みの前に必ずご確認ください。

訃報 3 回生: 後藤 久雄 様 2021 年 6 月 18 日逝去、5 回生: 早川 幸子 様 2021 年 11 月逝去、  
10 回生: 滝川 紘治 様 2018 年逝去、14 回生: 飛川 豊 様 2021 年 3 月逝去  
心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 事務局だより

東日本震災から11年が経過しても地域によって復興はまだら模様が目につくようになってきました。加えて、コロナウイルス感染もオミクロン株により経済的活動だけでなく文化的活動を含めて社会的活動の再開も手探り状態が続いています。「東京・石中会の集い」も2020年から2022年は中止となりました。本当に残念でなりません。来年は何とかりアルでの再開を事務局一同願っております。

事務局の活動は新型コロナウイルスの感染が始まって以来中々思うようにはできませんでした。その中で、会報誌の製作(16号、17号)は継続してきました。2021年に入りオンライン形式での役員会も何とか実施できるようになってきました。このような活動が出来るのも会員の皆様からの会費のおかげと感謝の気持ちで一杯です。また昨年から振込手数料を会員の皆様にご負担いただき大変助かっております。事務局としては様々な費用の節約にも取り組んでおります。「ヤマト運輸のDM便の活用」、「後納ハガキの活用」、等々。特に「広報誌」のみならず「様々な資料」の印刷も「フリントバックの活用」により質の良いものを従来比半額以下の費用で実現しております。引き続き大切な年会費の活用に努めてまいります。今後ともご指導・ご支援の程よろしくお願い致します。

また昨年度は石巻中学校応援募金活動を実施し、石巻中学校へのオンライン形式での贈呈式を実施することができました。事務局としても本当に良かったと思っています。会員の皆様に重ねて御礼申し上げます。会員の皆様に資料を送送しておりますが転居、等により一定数が返送されてまいります。年々会員数も減少傾向にありますので何とか維持・拡大をしていきたいと思っております。新しい方のご紹介や転居先のご連絡を宜しくお願い致します。

最後になりますが、長年に渡り役員として同窓会のお世話を頂いた早川幸子(5回生)様が昨年11月ご逝去致しました。お礼を申し上げますと共にご冥福をお祈り致します。

事務局長 相澤 貞止

編集・広報 委員 委員長 浅野 剛  
委員 首藤 光 春